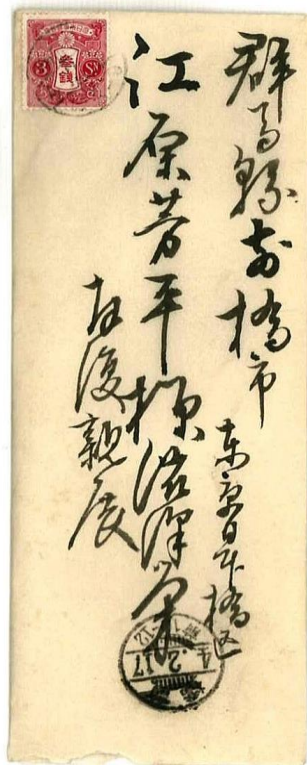


(封筒裏)
「封 二月十六日」



(封筒表)
群馬県前橋市
江原芳平様 洪澤栄一
拜復親展
東京日本橋区



【釈文⑨】

⑨〔江原芳平宛の洪澤栄一書簡〕

大正4(1914)年2月16日

この史料からは、史料⑧の洪澤差出からの手紙を受けて、江原芳平が大隈信常の選挙活動に対し「種々ご斡旋^{あつせん}」していたことがわかります。興味深いのは、前回の衆議院選挙で前橋市区において当選した竹越與三郎が、洪澤栄一に対し大隈信常へ助力しないよう申し入れていることです。これに対し洪澤は、大隈側の依頼に応じ「従来御懇親」の江原君に対し一書を送ったまでのことだ、と述べています。洪澤栄一による大隈支持の動きを警戒する竹越の焦りと、江原芳平と洪澤の親密な関係がうかがえます。

前橋市・江原毅家文書 P0113 No. 1097-2

拜啓、益御清適欣
慰之至二候、然者過日ハ
唐突之一書を呈して
御高配相願候処、其後
種々御幹旋中之趣
詳細之来示拝承仕候
早々御申越之次第ハ
信常君へ相通し
尚向後之御尽力相
願可レ申と存候、此上とも
引続き御心添之程
奉レ願候
竹越氏よりも先頃
小生方へ一書を以て大隈
氏へ之助力無レ之様と
被申越候得共、小生ハ敢而
貴地方之諸君へ強請
的ニ進候ニハ無レ之、只々大
隈氏之依頼ニ応じ
従来御懇親ニ致居候
江原君へ一書拝願
いたし候迄と答置申候
右等も為レ念申上候
時下余寒未退候折
角御自愛專一二祈上候
二月十六日
勿々拝具

江原芳平様

江原芳平様
拜復

二月十六日

渋澤栄一

江原芳平様
拜復